

## 2010（平成22）年度 事業計画

大阪府・市の厳しい財政状況下において、2009（平成21）年度に引き続き、補助金がさらに削減される中、当財団の設置目的である「戦争と平和に関する情報・資料の収集・保存・展示等を図るとともに、平和問題に関する調査研究・学習・普及等を図る」ことを推進するため、常設展示（ABC展示室）をはじめ既存の施設機能を最大限に生かした事業運営に努めるとともに、これまでに蓄積してきた所蔵資料の活用や関係機関・団体の協力を得ながら、工夫して特別展・企画事業を実施することとする。

### 1. 展示事業

#### (1) 常設展示等

展示室A（大阪空襲と人々の生活）、展示室B（15年戦争）、展示室C（平和の希求）、映像コーナー、図書室の運営、定時映画の上映（講堂）

#### (2) 特別展示

当センターの所蔵資料の活用や関係機関・団体の協力を得ながら、工夫して特別展を3回程度実施する。

##### ① 特別展「写真に見る「戦争」と「平和」 in アフガニスタン」

<趣 旨>

現在、最も世界の注目を集めている戦乱の地、アフガニスタン。その人々の苦悩の表情を西垣敬子氏（宝塚・アフガニスタン友好協会代表）撮影の写真から示し、一方、今から約30年前の平和だった頃のアフガニスタンでの人々の表情を、その当時に撮影された長島義明氏（写真家）の写真から示すことで、「戦争」と「平和」を写真上で比較し、その相違を明らかにすることにより、戦争と平和について一考する機会とする。

<期 間> 2010（平成22）年7月27日（火）～11月23日（祝）

<内 容> 写真・絵・文字パネル（約80点程度）、実物資料（約40点程度）

##### ②特別展「戦争の犠牲となった動物たち」

<趣 旨>

太平洋戦争末期、日本中の動物園は、空襲で檻が破壊されたら危険だという理由で、動物たち（猛獣類）を殺すよう迫られ、天王寺動物園でも1943（昭和18）年9月から翌年3月にかけて26頭の動物が薬殺された。それらの動物は現在、剥製となり残されています。

今回の特別展では、その剥製を展示し、悲劇を伝えるだけではなく、戦争中に人間に使われ犠牲となった軍馬、軍犬などの動物たちも取り上げ、戦争の愚かしさを考える機会とします。

<期 間> 2010 (平成 22) 年 12 月 7 日 (火) ～2011 (平成 23) 年 2 月 20 日 (日)  
<内 容> 写真・絵・文字パネル (約 80 点程度)、実物資料 (約 30 点程度)

### ③ 収蔵品展「焦土大阪Ⅱ ～絵が語る大空襲～」

<趣 旨>

太平洋戦争末期、1945 (昭和 20) 年 3 月 13～14 日に、米軍の B29 爆撃機の大編隊による空襲により大阪の中心部は火の海となり、それを皮切りに大阪は幾度も大規模な空襲を受け、焦土と化した。

現在、ピースおおさかが所蔵している絵画のなかには、市民から寄せられた空襲体験画だけでなく、被災後の街が描かれたものも数多くある。今回は「焦土大阪」展のなかで写真資料が果たした役割を、絵画資料でもって代え、大阪大空襲の全貌を明らかにする。

<期 間> 2011 (平成 23) 年 3 月 10 日 (木) ～7 月 10 日 (日)

<内 容> 写真・絵・文字パネル (約 100 点程度)、実物資料 (約 40 点程度)

### (3) その他の展示

- ① 収蔵品展示コーナー
- ② 講堂内展示
  - ・貸出パネル等の展示
- ② C 展示室「世界は今コーナー」
  - ・世界の紛争地等の写真パネルの展示

## 2. 企画事業

### (1) 平和祈念事業

8・15 終戦の日、12・8 開戦の日、3・13 大阪大空襲の日の節目の時期に、戦争の悲惨さと平和の尊さについて改めて考える機会として平和祈念事業を開催する。

#### ①終戦の日平和祈念事業①

<実施日> 2010 (平成 22) 年 8 月 7 日 (土) 午後 2 時～4 時

<テーマ> 「講演会と歌で検証する戦争と平和」

#### ②終戦の日平和祈念事業②

<実施日> 2010 (平成 22) 年 8 月 15 日 (日) 午後 1 時 30 分～4 時

<テーマ> 「玉音放送と学童疎開」

#### ③12・8 開戦の日平和祈念事業

<実施日> 2010 (平成 22) 年 12 月 5 日 (日) 午後 2 時～4 時

<テーマ> 「戦争の犠牲になった動物たち」(スライドと解説)(仮題)

#### ④大阪大空襲平和祈念事業

<実施日> 2011(平成23)年 3月13日(日) 午後2時~4時

<テーマ> 「空襲体験者の証言」(仮題)

#### (2) 教員のための平和学習講座

<実施日> 2010(平成22)年 8月6日(金) 午後2時00分~午後4時

#### (3) 大阪城戦跡ウォーク

<趣 旨> フィールドワークを衣替えし、当センター作成の「大阪城周辺に残る戦争の傷あと」マップを活用して、毎月、第2日曜日に開催する。「大阪にも空襲があった」ことを次世代に継承し、戦争の悲惨さと平和の尊さを考える機会とする。

<実施日> 5月~3月の毎月、第2日曜日の午前10時~12時

<内 容> ピースおおさかの展示見学後、大阪城周辺の戦跡をたどる。

#### (4) ウィークエンド・シネマ

<趣 旨> 当館所蔵の視聴覚資料(ビデオ・DVD・16ミリ)を活用して、毎週土曜日に映画会を開催する。

<実施日> 4月~3月の毎週土曜日の午後(他の企画事業実施日は除く)

### 3. 資料の収集・提供

#### (1) 資料の収集・提供

「図書類及び物品類の管理等の基準」に基づき、実物資料、視聴覚資料、図書資料の適切な収集と管理に努め、収蔵資料の充実を図る。また、「収蔵品管理システム」により、これらの資料の整理、保存、公開を行う。

#### (2) 平和学習資料の貸出

学校、官公署、市民団体等に、平和学習用資料(写真パネル、空襲体験画、ビデオ、DVD、16ミリフィルム等)の貸出を行う。

### 4. 広報・啓発

#### (1) 広報活動の充実

##### ①ホームページの運営

「ピースおおさかホームページ」により施設利用案内や事業広報等の情報提供を行い、大阪府内市町村・大阪市(各区)等の関係機関へのリンクを促進する。

##### ②府内市町村教育委員会への訪問

・大阪城公園ネットワーク施設(NHK・大阪歴史博物館・大阪城天守閣・ピースおおさか) 見学コースの提供

### ③チラシの配布先の拡大

- ・大阪市内の商店会・各区の老人会（区老連）・地下鉄（6 駅）

### ④外国人観光客への広報活動

- ・外国人バックパッカーが利用する西成簡易宿泊所（13 ホテル）へのパンフ（日本語・英語・中国語・ハングル語）・チラシの設置
- ・大阪観光ボランティア協会（大阪城公園内豊国神社内）によるピースおおさかへの入館促進。

## （2）印刷物の作成・配布

- ① パンフレット「展示のしおり」  
（日本語、英語、中国語、ハングル語）
- ② 館報「ピースおおさか」第41号
- ③ 講演録（平和祈念事業等）

## （3）大阪城関係施設との連携

- ①大阪城天守閣（モデル見学コース）
- ②大阪歴史博物館（モデル見学コース）
- ③大阪水上バス（パンフやチラシ等の設置）
- ④大阪城ロードトレイン（ピースおおさか案内アナウンス）

## 5. 大阪空襲死没者を追悼し平和を祈念する場の運営

大阪空襲死没者の追悼及び恒久平和を祈念するため、2005（平成 17）年度に整備した「刻の庭」の管理運営を行うとともに、大阪空襲死没者名簿の管理、新規登載申出の受付等を行う。







